

# 実物資産四半期レポート

## 人工知能（AI）が上場実物資産セクターで幅広く投資機会を提供

人工知能（AI）のメガトレンドに対する熱狂は、主にテクノロジー企業に恩恵をもたらしてきました。しかし、デジタル経済の根幹をなす実物資産は代替リスクやテクノロジー・リスクが低いと考えられ、AIのメガトレンドを取り入れた魅力的な投資機会を提供すると考えています。

AIやその他複雑な量子コンピューティング応用のブームがデータの爆発的な増加を促しており、電力網は既にこのペースに後れをとっています。データは世界で最も急成長しているコモディティであり、その伝送、処理、保存および電力供給には実物資産が必要です。

データへの絶えない欲求とその結果として急増する電力需要を満たすには、既存インフラや不動産の更新に大規模な投資が必要になると見えています。これが上場実物資産ユニバースの主要分野4つで投資機会を提供していると見えています。

## データ関連物件タイプおよびインフラ

データセンターは、おそらくAIのメガトレンドから最も明白に恩恵を受けています。データセンターは、世界経済が生み出す膨大なデータを処理、保存および伝送するために必要不可欠なインフラです。AIブームを背景に、データセンター需要は過去数年にわたり増加してきました。その結果として賃料は上昇、需要が供給を上回ることから、この賃料の力強い伸びが継続すると予想しています。

AIの発展とともに増加するデータを支えるため、通信塔の新設も必要となります。無線通信網は進化し、ダウンロード速度の上昇から帯域幅の拡大が必要となるでしょう。通信インフラ企業は、通信塔の増設や既存資産の更新に向けた追加投資のニーズから恩恵を受けると見込まれます。

## パフォーマンス・レビュー（%）、2024年3月31日時点

	Q1 2024	2023年
<b>グローバル・インフラ株式</b>		
FTSE グローバル・コア・インフラストラクチャー50/50インデックス	1.75	3.10
ダウ・ジョーンズ・ブルックフィールド・グローバル・インフラストラクチャー・インデックス	-0.41	4.51
<b>エネルギー・インフラ株式</b>		
アリアン・ミッドストリーム・エナジー・インデックス	10.15	14.02
アリアン MLP インデックス	13.89	36.56
<b>グローバル不動産株式</b>		
FTSE EPRA NAREIT ディベロップト・インデックス	-1.05	10.85
MSCI 米国 REIT インデックス	-0.32	13.74
ICE BofA 優先証券REIT 7%コストレインド・インデックス	-0.27	20.92
<b>実物資産デット</b>		
ICE BofA リアル・アセット米ドル・ハイ・イールド・カスタム・インデックス	1.04	12.71
ICE BofA リアル・アセット米ドル投資適格カスタム・インデックス	-0.20	8.68
ICE BofA リアル・アセット米ドル・ハイ・イールド&コーポレート・カスタム・インデックス	0.67	11.50
<b>市場全般ベンチマーク</b>		
MSCI ワールド・インデックス	9.01	24.42
S&P 500インデックス	10.56	26.29
ブルームバーグ・グローバル総合インデックス	-2.08	5.72
ICE BofA 米国ハイ・イールド・インデックス	1.51	13.46

2024年3月31日時点。出所：ブルームバーグ。ブルックフィールドは、ダウ・ジョーンズ・ブルックフィールド・グローバル・インフラストラクチャー・インデックスの日々の管理に直接的に関与していません。当レポートの最後に記載のインデックスの定義を参照ください。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。インデックスのパフォーマンスは、ブルックフィールドの投資パフォーマンスを示唆するものではありません。インデックスは運用されていません。インデックスに直接投資することはできません。

## 発電および送配電

生成 AI は高度な計算処理を行うため、データセンターの電力需要を増大させます。電力会社や発電資産の所有者は、電力需要の増加から恩恵を受けるポジションにあります。原子力や再生可能エネルギー発電所は、世界的なクリーンエネルギーへの移行から主に恩恵を受けると考えています。

しかし、今日の再生可能エネルギーは断続的であり、十分な蓄電設備が整っていない事を考えると、データセンターの増加に伴い、信頼性とコスト効率が高い電力供給を確保するためには、天然ガスなど従来型の低炭素ベースロード電源も重要になります<sup>1</sup>。

## ミッドストリーム・エネルギー・インフラ

AI 関連の電力需要の伸びから最も恩恵を受けると見られるのは、天然ガスの輸送に必要なインフラを提供する天然ガスインフラ企業だと見えています。電力需要の大きな変化から、北米天然ガスのバリューチェーン全体を通してエネルギー・インフラの成長を見込んでいます。電力会社の多くは、天然ガス発電所の増加に対応すべく資金計画の調整を行っており、これら新設設備の稼働には、さらなるインフラと供給を要します。

この成長は、2027 年までに 2 倍以上の拡大が見込まれる米国の液化天然ガス（LNG）輸出需要をさらに押し上げると見込まれます。最後に、世界全体の天然ガス消費は長期的にわたり増加が見込まれることから、電力消費の構造的な変化も、同資産クラスのマルチプル拡大を促す可能性があります。

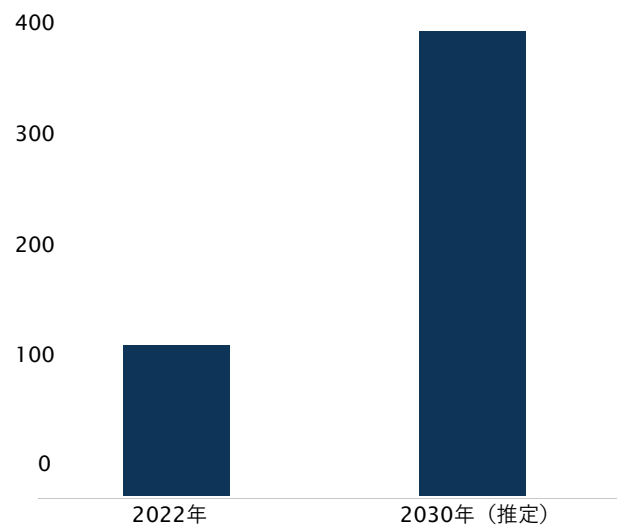
## データ・インフラを支えるハードウェア・ソリューション

データセンターが新しい多様な電力源を活用するになるとともに、データセンター企業は、安定した信頼性の高い電力供給、エネルギー効率と運用効率の最適化を可能とする、独自のハードウェア機器ソリューションや機能強化に取り組む必要があるでしょう。

より高性能の半導体は熱をより多く発するため、誤動作や故障を防ぐための機器冷却ソリューションへの投資が必要です。また、データセンターの接続障害を防ぐためには、予備電源ソリューションが不可欠です。データセンターに備えられた予備電源、エネルギー効率や冷却のシステムなども、データセンターの運用コスト全体の削減には欠かせないものであると当社では考えます。

## データセンターの電力消費量は大幅増が予想される

米国データセンターの電力消費量（TWh）



2024 年 3 月 4 日時点。出所：パロンズ、ボストン・コンサルティング・グループ。TWh はテラワット時。このような事象や予測が実現する保証はなく、実際の結果はここに示したものと大きく異なる可能性があります。将来の見通しに関する記述の詳細については、開示情報をご覧ください。

## 実物資産の分散配分に関する足元の見解

経済成長は 2024 年に鈍化すると予想しています。インフレは低下傾向にあるものの、中央銀行はインフレが再加速しないように政策金利を制約的な水準に保つと考えています。総じて、ポートフォリオではディフェンシブなポジションを維持し、実物資産株式をアンダーウェイト、実物資産デットをオーバーウェイトしています。また、地政学的リスクおよびマクロ経済の不確実性が高まる中、分散を強化するため、コモディティへの適度な配分を維持しています。

株式の中では、インフラは下落相場でアウトパフォームする可能性があり、インフレ連動型の収入構造がより顕著である点からも、引き続き不動産よりインフラを選好しています。インフラの中では、ディフェンシブな特性および足元の魅力的なバ

リュエーションを踏まえ、公益事業に対して最も明るい見通しです。また、世界的なエネルギー安全保障の推進から恩恵を受けると考えられるミッドストリーム関連株式には、追い風が吹いていると見ています。不動産においては、長期化する資金調達面の懸念や商業用不動産全般に対するネガティブなセンチメントが健在です。しかし、金利が 2024 年を通じて安定化すれば、市場は不動産価格を適正に評価する可能性があり、必要不可欠なニーズを満たす一部の物件タイプにおいて投資機会が浮上すると予想しています。最後に、米国債利回りの上昇を受けて、実物資産デット、特にデフォルト・リスクが低水準で維持されると予想される格付けがより高いものに関しては、引き続きリスク調整後ベースで投資妙味があります。

- オーバーウェイト見通し
- ニュートラル見通し
- アンダーウェイト見通し

### インフラストラクチャー

- **インフラ株式**については、ニュートラルの見通し。ディフェンシブな特性に加え、足元の魅力的なバリュエーションを踏まえ、米国の公益事業を選好。エネルギー・インフラにも投資機会が存在。世界的なエネルギー供給網の再編により米国産エネルギーへの需要が増加するため、短期的な需給ファンダメンタルズが引き続き同セクターを支える。運輸セクターについては、景気減速の影響を受けやすいため、慎重な見通し。

### グローバル不動産

- **不動産証券**については、シクリカルな不動産市場にとって景気減速は懸念材料であり、稼働率、賃料、キャッシュフローを押し下げる可能性があるため、アンダーウェイトの見通し。現在、データセンター、ヘルスケア、小売の一部を含む多くの物件タイプで需要が旺盛。一方、オフィス・セクターに加え、強い供給圧力に見舞われている一部地域の住宅および産業用市場では引き続き逆風の影響を受けている。上場不動産投資信託（リート）のバリュエーションは、引き続き非上場市場の純資産総額（NAV）を下回っているものの、マクロ・リスクを注視しており、これらのリスクが後退し始めれば、不動産の見通しを引き上げる。

### 実物資産デット

- **実物資産デット**については、基準金利の大幅な上昇に起因する魅力的な絶対利回り、そして株式よりもディフェンシブな特性を背景に、オーバーウェイトの見通し。不透明な経済環境および過去平均より縮小した水準で推移するクレジット・スプレッドを踏まえ、クレジット・リスクに対して慎重な見方を維持。軟調な経済環境下でクレジット・スプレッドの拡大が予想されることから、投資適格と格付けの高いハイイールドを選好。

### オポチュニスティック

- **コモディティ**は、不透明な市場環境下において、概ねディフェンシブなポートフォリオのポジションに対してバランスを取る役割を果たす。特に原油は、景気回復の足掛かりが需要増に繋がれば固有のサポートをもたらし、供給に影響を与え得る地政学的リスクの高まりに対してヘッジを提供する。

2024 年 3 月 31 日時点。出所：ブルックフィールド PSG。アンダーウェイト：ベンチマークに対して配分を引き下げる可能性あり。ニュートラル：ベンチマークと同等の配分を検討。オーバーウェイト：ベンチマークに対して配分を引き上げる可能性あり。分散が利益を生み出す、または損失を回避する保証はありません。

# グローバル・インフラ株式

2024年1-3月期、グローバル上場インフラ株式はわずかに上昇しました。FTSE グローバル・コア・インフラストラクチャー50/50 インデックスは、1.75%上昇しました。セクター別では、エネルギー関連企業と空港が最も大幅に上昇しました。10年物米国債利回りが期中に上昇したことから、金利感応度の高いセクターは劣後しました。

## 当社の見通し：潜在的なエントリー・ポイント

米国のインフレ率は、当初低下する兆候を示した後、大方の予想を上回って高止まりしています。その結果、金利は近年で最も高い水準を維持していますが、金利が低下し始めれば、インフラ資産は優れたパフォーマンスを上げる好ポジションにあると考えています。投資期間が一般的に10年以上にわたる非上場インフラ投資家は、引き続き相当額の資本を配分しています。これはインフラ資産の長期耐久性を実証するものと考えており、上場市場における足元のバリュエーションは、これらの資産が創出する長期キャッシュフローと比較して魅力的な価値を提供すると見ています。

## 足元の見解

● オーバーウェイト見通し      ● ニュートラル見通し      ● アンダーウェイト見通し

ウェイト	セクター	当社の見解
●	公益事業	魅力的なバリュエーションに加え、今後数年にわたる設備投資と収益成長の明るい見通しが、米国の公営事業全般の好調なパフォーマンスを支えると見込まれる。データセンターによる電力需要の増大に関連する追加需要が、収益をさらに押し上げる可能性がある。  再生可能エネルギー・セクターでは、金利動向と不透明な規制環境が株価を抑制してきた。今後数四半期以降の見通しについては、選挙の結果や資本コストの低下によって長期的に優れた成長機会に焦点が戻ると楽観的に見ている。
●	運輸	交通量は空港と主要有料道路の双方で安定した水準を維持。鉄道セクターでは、企業によるニアショアリング関連投資の影響が確認され始めている。
●	通信	通信塔オーナーの1-3月期のリターンは金利上昇を背景に劣後したが、バリュエーションは、長期ファンダメンタルズに照らして依然として魅力的。モバイルデータ需要は引き続きかなり旺盛で、無線通信事業者は設備投資を行うと考える。
●	エネルギー・インフラ	天然ガス需要の目先の見通しは明るいとしている。先進国全般にわたり引き続きエネルギー安全保障に重点が置かれており、低コストで低炭素のエネルギー源が選好される。データセンターおよびAI搭載のテーマに関連する追加需要は、ミッドストリーム・エネルギーの取扱量を押し上げる可能性が高い。

2024年3月31日時点。出所：ブルックフィールドPSG。アンダーウェイト：ベンチマークに対して配分を引き下げる可能性あり。ニュートラル：ベンチマークと同等の配分を検討。オーバーウェイト：ベンチマークに対して配分を引き上げる可能性あり。



# グローバル不動産証券

2024年1-3月期、グローバル不動産証券のリターンは軟調でした。FTSE EPRA Nareit ディベロップト・インデックスは1.05%下落し、全ての地域で下落しました。全体では軟調だったものの、米国の物件タイプ複数は上昇しました。リージョナル型ショッピングセンター、ホテル、データセンターのリターンが最も堅調でした。一方、分散型、セルフストレージ、産業用リートは出遅れました。

## 当社の見通し

運用チームの最近のコメントによると、データセンター、ヘルスケアおよび一部の小売セクターでは、事業ファンダメンタルズは良好または改善しています。オフィス・セクターには一定の逆風が残っている一方、一部の住宅および産業用不動産は強い供給圧力に見舞われています。しかし、金利低下の可能性を背景に、不動産は全体として、株式市場全般とのバリュエーション・ギャップが解消される好位置にあると考えています。

## 足元の見解

● オーバーウェイト      ● ニュートラル      ● アンダーウェイト

ウェイト	地域／セクター	当社見解の一部
●	北米	
●	ネットリース	魅力的なバリュエーション、安定した収益、外部成長の可能性に基づき、ネットリース・セクターは引き続き良好な見通し。
●	住宅	サンベルト地域や米国南部に重点を置く企業より、ゲートウェイ市場に注目した集合住宅を持つ企業のファンダメンタルズが良好と見ている。
●	産業用	産業用セクター全般にわたりファンダメンタルズが引き続き軟化。高水準の供給を背景に空きスペースの増加が継続。需給バランスは2024年後半から2025年にかけて改善する見込み。
●	アジア太平洋	
●	日本	足元のポジションはディベロッパーとリートの間で均等ウェイト、オフィスと産業用資産を選好。
●	香港	慎重姿勢を維持するが、政府による抑制措置の一部解除後における最近の新築住宅販売の増加は明るい材料だと考える。
●	欧州	
●	大陸欧州	他の地域と比べて見通しを改善。現在、住宅と小売を持つ企業に最も多くの投資機会を見出している。

2024年3月31日時点。出所：ブルックフィールド PSG。アンダーウェイト：ベンチマークに対して配分を引き下げる可能性あり。ニュートラル：ベンチマークと同等の配分を検討。オーバーウェイト：ベンチマークに対して配分を引き上げる可能性あり。

# 実物資産デット

2024年1-3月期、債券市場のパフォーマンスは強弱混在した結果となり、ハイイールドと投資適格でクレジット・スプレッドが縮小した一方、米国債金利はイールドカーブ全体にわたり上昇しました。ICE BofA 米国コーポレート・インデックスで見る投資適格全般のリターンは、長期デュレーションのパフォーマンスが劣後したため-0.08%となりましたが、ICE BofA 米国ハイ・イールド・インデックスで見るハイイールド全般は、1.51%上昇しました。ハイイールドの中では、低格付け債がBB格債およびB格債をアウトパフォームしました。実物資産投資適格のパフォーマンスは市場全般とほぼ同程度となる一方で、電気通信セクターが軟調だった実物資産ハイイールドはアンダーパフォームしました。

投資適格、ハイイールド、レバレッジド・ローンはすべて、期中に強い需要と記録的な新規発行が見られました<sup>2</sup>。また、格付けの引き上げが引き下げを大きく上回りました。1-3月期に21社がデフォルト（ディストレスト債務交換を含む）に陥り、引き続き直近12カ月のデフォルト率を押し上げました<sup>3</sup>。当社の分析によると、過去12カ月のデフォルトは、引き続き実物資産以外のセクターに集中していますが、電気通信セクターでは今後数四半期にわたりデフォルトが増加すると予想しています。過去データに基づき、実物資産を裏付けとする発行体の債券は、デフォルト時の回収率が高いと考えられます。

## 当社の見通し

今後数四半期にわたり緩やかな景気減速を予想していますが、選挙年である今年は財政政策が引き続き成長を支えると思込まれます。楽観的な経済成長シナリオにおいても、金利コストの上昇と借り換え需要の高まりを背景に、デフォルト率は引き続き上昇する可能性があり、高金利の長期化を伴う軟着陸のシナリオは引き続き変動金利商品の重石となる可能性があります。実物資産セクターの発行体は、それ以外と比較して平均クーポンが相対的に低く、固定金利の割合が高く、今後5年にわたり満期を迎える割合が相対的に少ないと見ています。

ハイイールドのスプレッドは長期平均より縮小しているものの、デフォルト率の上昇が見込まれる局面で予想される信用損失を調整したベースでみると、実物資産ハイイールド、特にBB格銘柄は相対的に魅力があります。ポートフォリオでは、インフラ・デットに加えて、一部の不動産デットへの投資機会を選好します。

## 足元の見解

● オーバーウェイト      ● ニュートラル      ● アンダーウェイト

ウェイト	地域／セクター	当社の見解
●	<b>インフラストラクチャー</b>	
●	<b>公益事業</b>	ファンダメンタルズは強固。リスク調整後で見ても、安定したシニア無担保債に加え、ジュニア劣後証券に優れた投資機会を見出している。
●	<b>ミッドストリーム</b>	短期のファンダメンタルズが力強く、利回りの高いエネルギー・インフラを選好。
●	<b>通信</b>	セクター内の乖離が投資機会を生み出している。一部のセクター（通信塔など）は不透明な経済環境下でも引き続き安定したキャッシュフローを生み出しており、その他のセクター（従来型の事業モデルを持つ電気通信企業など）は、大規模な設備投資資金の調達に際して資本市場に依存することから逆風に見舞われている。
●	<b>不動産</b>	
●	<b>住宅</b>	引き続き、住宅建設会社、賃貸戸建住宅、集合住宅、ディベロッパーなど、住宅を選好。
●	<b>サービス</b>	構造的なマージンの改善、景気に左右されにくい傾向を背景に、地域特化型を中心とした娯楽企業のファンダメンタルズは強固だと考える。引き続き、一部のホテル保有・運営企業に相対的な投資妙味がある。景気減速および関連する消費者の購買力低下は、同セクターにとって深刻なリスクで注視が必要。
●	<b>リート</b>	ネットリースや小売、オフィスなど一部セクターで、魅力的なボトムアップの投資機会を見出している。
●	<b>天然資源</b>	
●	<b>E&amp;P (探鉱・開発・生産)</b>	バランスシートの改善および大幅な生産拡大に対する企業の消極姿勢を踏まえ、E&P 企業のオーバーウェイトを維持するが、総合エネルギー企業は、割高なバリュエーションを踏まえてアンダーウェイト、油田サービスと精製は、キャッシュフローのボラティリティを踏まえてアンダーウェイト。
●	<b>金属 &amp; 鉱業、 農業 &amp; 林業、化学</b>	魅力に欠けるバリュエーションと景気減速が見込まれる中でのファンダメンタルズ悪化を背景に、アンダーウェイトの見通しを維持。

2024年3月31日時点。出所：ブルックフィールド PSG。アンダーウェイト：ベンチマークに対して配分を引き下げる可能性あり。ニュートラル：ベンチマークと同等の配分を検討。オーバーウェイト：ベンチマークに対して配分を引き上げる可能性あり。

## 後注：

<sup>1</sup> ベースロードとは、一定期間にわたり安定したペースで供給または要求される電力の最低量を指します。

<sup>2</sup> 出所：JP モルガン。

<sup>3</sup> 出所：JP モルガン・デフォルト・モニター。

## リスクに関する開示事項

すべての投資にはリスクが伴います。投資の価値は時間とともに変動し、投資家においては、利益を得るもしくは投資の一部または全てを損失する可能性があります。インフラ企業は、高い金利コスト、高いレバレッジ、規制コスト、景気減速、過剰能力、競争の激化、燃料の入手可能性の欠如、エネルギー保全政策を含む、様々な要因がその事業に悪影響を与える場合があります。エクイティからデットまでを含む全ての不動産投資には一定のリスクが伴います。債券リスクには、金利リスクや信用リスクが含まれます。通常、金利が上昇すると、それに伴って債券の価値は下落します。クレジット・リスクは、債券の発行体が元利金を支払うことができない可能性を指します。実物資産には、不動産証券、インフラ証券、天然資源証券が含まれます。分散が利益を生み出す、または市場下落時に損失を回避する保証はありません。

債券格付けは、債券に付与される等級であり、スタンダード・&・プアーズ、ムーディーズ、フィッチなど民間の独立格付機関により決定される信用力を示します。これらの格付機関は、債券発行体の財務の健全性、すなわち債券の元利金を期日に返済する能力を評価します。格付けは、最高等級の「AAA」から最低等級の「D」までのアルファベットで表示されます。信用格付けは変更される場合があります。

## 重要な開示事項

ブルックフィールド・パブリック・セキュリティーズ・グループ・エルエルシー（「PSG」）は、SEC 登録投資顧問会社で、カナダの各州・準州において運用会社として登録されており、ブルックフィールド・アセット・マネジメント・インクのパブリック・セキュリティーズ・グループを代表し、不動産株式、インフラ株式、マルチ戦略実物資産ソリューション、実物資産債券を含むグローバル市場実物資産戦略を提供しています。PSG は、金融機関、公的・私的年金プラン、保険会社、基金・財団、政府系投資ファンド、個人富裕層を含む機関投資家および個人投資家向けに、セパレート・アカウント、登録ファンドおよびオポチュニスティック戦略を運用しています。PSG は、世界有数のオルタナティブ資産運用会社であるブルックフィールド・アセット・マネジメント・インクの間接的な完全子会社です。

当資料に含まれる情報は、投資助言、取引意図もしくは保有銘柄の示唆または投資パフォーマンスの予測ではなく、そのように意図したものではありません。当資料に表示された見解および情報は、いつでも変更される場合があります。ブルックフィールドは、当該見解や情報を更新する責任を負いません。当該情報は信頼できる情報源から取得したものと見なされますが、ブルックフィールドは、その完全性または正確性を保証しません。当資料は、ブルックフィールドが事業免許を取得していないか、募集、勧誘、購入もしくは売却が不能または違法である地域において、いかなる証券、商品もしくはサービスの売却の募集もしくは勧誘または購入申し込みの勧誘を意図および構成するものではありません（また、いかなる証券、商品もしくはサービスも募集または売却してはなりません）。当資料に表示された意見は、子会社および関連会社を含むブルックフィールド・パブリック・セキュリティーズ・グループ・エルエルシーの現在の意見であり、予告なしに変更となる場合があります。子会社および関連会社を含むブルックフィールド・パブリック・セキュリティーズ・グループ・エルエルシーは、当該情報の更新または顧客への変更の通知を行う責任を負いません。当資料に提示されたいかなる見通し、予測またはポートフォリオ保有比率も当資料に示された日付時点のものであり、予告なしに変更となる場合があります。過去の実績は将来の成果を示唆するものではなく、投資の価値およびそれらの投資から生じるインカムは変動する可能性があります。将来のリターンは保証されておらず、元本の損失が生じる場合があります。

## 将来に関する記述

当資料は、米国連邦証券法令、具体的に米国 1934 年証券取引所法（その後の改正を含む）第 21E 条、そしてカナダ証券法令における意義の範囲内における将来の見通しに関する記述を含む情報やそれらに基づく情報が含まれています。将来の見通しに関する記述は、事業戦略や投資戦略もしくは戦略遂行のための措置、競争力、目標、事業の拡大および成長、計画、見込み、将来の成功への言及など、将来の行動、事象または動向に関して、過去の事実の記述以外のすべての記述を含みます。これらの記述は、過去または現在の事実と厳格に関連しないという事実によって特定することができます。「予測」、「推定」、「期待」、「予想」、「想定」、「計画」、「考え」やその他の類似する用語は、これらの将来の見通しに関する記述を特定するために用いられます。将来の見通しに関する記述は、不正確な仮定や既知もしくは未知のリスクおよび不確実性によって影響を受ける可能性があります。そうした要素の多くは、将来の実際の結果や成果を決定する上で重要となります。そのため、いかなる将来の見通しに関する記述についても保証はありません。実際の結果や成果は大きく異なる場合があります。これらの不確実性を踏まえ、これらの将来の見通しに関する記述に不当に依拠するべきではありません。

## インデックス・プロバイダーに関する免責事項

当資料内で引用されたインデックスは運用されておらず、投資家がインデックスに直接投資することはできません。インデックスのパフォーマンスは例示のみを目的として記載されており、いかなる投資のパフォーマンスも予測または表示するものではありません。当該比較に関連して、記載されたインデックスとブルックフィールドの戦略、コンポジットまたはファンドへの投資との間には、ポフティリティや規制上および法律上の制約の違いなど、重大な要因が存在する可能性があります。ブルックフィールドは、第三者のインデックス・スポンサーからインデックスに関するすべてのデータを取得しており、当該データは正確と考えていますが、その正確性に関していかなる表明も行わないものではありません。インデックスは運用されておらず、投資家が直接購入することはできません。

ブルックフィールド・パブリック・セキュリティーズ・グループ・エルエルシーは、当資料で参照されたインデックスを所有しておらず、その構築または日々の管理に関与していません。当資料に記載されたインデックスの情報は、お客様への情報提供のみを目的としており、ブルックフィールドの運用商品が同様の結果を達成すると暗示または予測するものではありません。当該情報は予告なく変更されることがあります。当資料で参照されたインデックスは、いかなる報酬、費用、販売手数料または税金も控除していません。インデックスに直接投資することはできません。インデックス・スポンサーは、インデックスおよび関連データの「現状のまま」での使用を許可しており、これに関していかなる保証も行わず、インデックスまたはインデックスに含まれる、関連する、もしくはそこから派生するデータの適合性や品質、正確性、適時性、完全性を保証せず、それらの使用に関連して一切の責任を負いません。インデックス・スポンサーは、直接的、間接的、特別、偶発的、懲罰的、結果的またはその他の損害（利益の損失を含む）について一切の責任を負いません。インデックス・スポンサーは、ブルックフィールドまたはそのいかなる運用商品やサービスの後援、是認または推奨も行いません。別段の注記がない限り、すべてのインデックスはトータルリターン・インデックスです。



## インデックスの定義

アレリアン・ミッドストリーム・エナジー・インデックスは、幅広い北米エネルギー・インフラ企業の複合インデックスです。上限付き浮動株調整後時価総額加重インデックスは、キャッシュフローの過半数がエネルギー・コモディティを含むミッドストリーム活動から生じている企業で構成され、価格リターン・ベース（AMNA）とトータルリターン・ベース（AMNAZ）でリアルタイムに提供されています。

アレリアン MLP インデックスは、エネルギー・インフラ・マスター・リミテッド・パートナーシップ（MLPs）の主要な測定指標です。上限付き浮動株調整後時価総額加重インデックスは、キャッシュフローの過半数がエネルギー・コモディティを含むミッドストリーム活動から生じている企業で構成され、価格リターン・ベース（AMZ）とトータルリターン・ベース（AMZX）でリアルタイムに提供されています。

ブルームバーグ・グローバル総合インデックスは、グローバル債券を含む、主要な国内市場およびユーロボンド市場で発行された投資適格公募債券のパフォーマンスを追跡しています。

ダウ・ジョーンズ・ブルックフィールド・グローバル・インフラストラクチャー・インデックスは、年間キャッシュフローの少なくとも70%がインフラ資産の保有と運営から生じているインフラ企業で構成されています。ブルックフィールドは、ブルックフィールドの名称が付けられたいかなるインデックスについても日々の管理に直接的に関与していません。

FTSE EPRA Nareit デイバロップ不動産インデックスは、運用されていない時価総額加重トータルリターン・インデックスであり、先進国の上場エクイティ・リートおよび上場不動産企業で構成されています。

FTSE グローバル・コア・インフラストラクチャー50/50 インデックスは、市場参加者に業界の定義によるインフラの解釈をもたらし、一定のインフラ・サブセクターへのエクスポージャーを調整しています。セクター別構成比率は、半年ごとのレビューの一環として、広範な3産業セクターについて、公益事業50%、7.5%を上限とする道路／鉄道を含む運輸30%、パイプライン、衛星、電気通信塔を含むその他セクター20%の比率に従って調整されます。各グループ内の個別銘柄の比率は、投資可能時価総額の割合で調整されます。

ICE BofA 優先証券 REIT 7%コンストレインド・インデックスは、不動産投資信託が発行したすべての優先証券を含む BofA 固定金利優先証券インデックスのサブセットです。ICE BofA 固定金利優先証券インデックスは、米国内市場で発行された固定金利米ドル建て優先証券のパフォーマンスを追跡しています。

ICE BofA リアル・アセット米ドル・ハイ・イールド&コーポレート・カスタム・インデックスは、ブルックフィールドの実物資産ユニバースにおける株式セクターに対応する ICE BofA 米国ハイイールド・インデックス（70%）と ICE BofA 米国コーポレート・インデックス（30%）のセクターを合成したカスタム・インデックスです。この実物資産関連セクターには、ケーブルテレビ、インフラ・サービス、石油・ガス T&D、電気通信、運輸、公益事業、農業、林業、基本素材、エネルギー探鉱・開発・生産、金属&鉱業、不動産、不動産所有&開発、リートが含まれます。ICE BofA 米国ハイ・イールド・インデックスは、米国内市場で公募発行された米ドル建て投資適格未済社債のパフォーマンスを追跡しています。ICE BofA 米国コーポレート・インデックスは、米国内市場で公募発行された米ドル建て投資適格社債のパフォーマンスを追跡しています。

ICE BofA リアル・アセット米ドル投資適格カスタム・インデックスは、ブルックフィールドの実物資産ユニバースにおける株式セクターに対応する ICE BofA 米国コーポレート・インデックスのセクターのパフォーマンスを追跡するカスタム・インデックスです。この実物資産関連セクターには、ケーブルテレビ、インフラ・サービス、石油・ガス T&D、電気通信、運輸、公益事業、農業、林業、基本素材、エネルギー探鉱・開発・生産、金属&鉱業、不動産、不動産所有&開発、リートが含まれます。

ICE BofA リアル・アセット米ドル・ハイ・イールド・カスタム・インデックスは、ブルックフィールドの実物資産ユニバースにおける株式セクターに対応する ICE BofA 米国ハイ・イールド・インデックスのセクターのパフォーマンスを追跡するカスタム・インデックスです。この実物資産関連セクターには、ケーブルテレビ、インフラ・サービス、石油・ガス T&D、電気通信、運輸、公益事業、農業、林業、基本素材、エネルギー探鉱・開発・生産、金属&鉱業、不動産、不動産所有&開発、リートが含まれます。

MSCI 米国 REIT インデックスは、エクイティ不動産投資信託（REIT）で構成される浮動株調整後時価総額加重インデックスです。153銘柄（大型・中型・小型株）で構成される同インデックスは、米国 REIT ユニバースの約99%を代表しています。

MSCI ワールド・インデックスは、先進国の株式市場のパフォーマンスを測定するように設計された、浮動株調整後時価総額加重インデックスです。

S&P500 インデックスは、幅広く保有された大型株米国企業を代表する500社の株価指数です。